



紡績運転技能実習評価 専門級 学科試験問題

せんもんちしき ぜんぼうこうてい
専門知識： 前紡工程

1. 次の文で正しいものには○、誤っているものには×で答えよ。(30点)

- (1) 練条機のクリール部は機械の正面のことである。
- (2) クリアラー屑は、再用綿にする。
- (3) トップローラーは、筋ローラーの上に乗っているゴムローラーのことである。
- (4) スライバーをスライバーガイドに通す場合、スライバーが切れないように撚を強くかけてから通す。
- (5) ダブリング数とは、スライバーの供給本数のことである。
- (6) 練条通し回数を多くするほど、ネップは増加する。
- (7) スライバーはケンスに収容する。
- (8) 仕掛けスライバーの本数が合っていなかったで、合わせて運転した。
- (9) ニューマー綿屑の中に良繊維が多く混入していたので、直ぐ責任者に連絡した。
- (10) クリールでスライバー切れが度々みられたが、そのまま運転した。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	×	○	×	○	○	○	×	○	×

2. 次の文の()の中のどちらかを選んで、①または②で答えよ。(30点)

- (1) フロントローラーから出てきたフリースは(①ギャザラー ②スライバーガイド)を経てレデューサーに導かれる。
- (2) ケンスの引き出し・運搬のときは、スライバーを傷めないようにケンスの(①上部 ②中間)を持つ。
- (3) スライバーの量目は、通常(①6ヤード ②15ヤード)当たりの重さで測定する。
- (4) 繊維束を引き伸ばして細い繊維束にすることを(①ダブリング ②ドラフト)という。
- (5) ダブリングによりスライバーの(①平行度 ②均整度)がよくなる。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
①	②	①	②	②